令和５年度学校経営構想

1　経営方針

安心と創造　～自己肯定感・自己有用感の育成～

(1)　思いやりを育み、良さを認め合い、誰もが安心できる学校

◎人間関係づくり

・自分の良さに気づき、自分を大切にする心の育成

・他者の良さを認め、相手を尊重する人権意識の育成

(2)　未来社会を、たくましく、しなやかに生きる力の創造

◎授業づくり

・学んだことを社会に役立てようとする心の育成

・ＩＣＴを効果的に活用した豊かに生きる力の育成

チーム岳洋

合い言葉「ありがとう」

専門性：授業力、生徒指導力（学級・学年）を向上し続ける意識をもつ
幅広い研修の充実、子どもの実態、重点を押さえた教育活動

使命感：個に応じた配慮を心がけ、誰一人取り残さない教育を実現する
子どもの良さ、努力を認め、「自己肯定感」、「生きる力」を育む

倫理観：人権意識、モラルの向上に努め、信頼を高める
不祥事、ハラスメント、不適切な言動の根絶

※教師の服装、言葉づかい、態度、行動は子どもの手本となる。
※よりよい働き方を組織的に模索し、実践する。

PDCA サイクルを活かした魅力ある学校づくり
教育的素養・総合的人間力の向上（教師の姿勢）

岳洋学舎（学びの庭構想・小中一貫教育）

岳洋中学校区（岳洋中・小笠東小・小笠南小・小笠北小）が目指す子ども像

「自信をもち　自分の力を発揮する小笠の子ども」

◎コミュニケーション力の育成（主体性・人間関係形成能力・多面的多角的思考力）

・授業改善　・一貫カリキュラム　・小小、小中連携　・地域連携

岳洋学舎運営協議会「すてきなあいさつ」推進運動

2　教育目標・目指す生徒の姿

(1)　校　訓　　「強く　正しく　明るく」

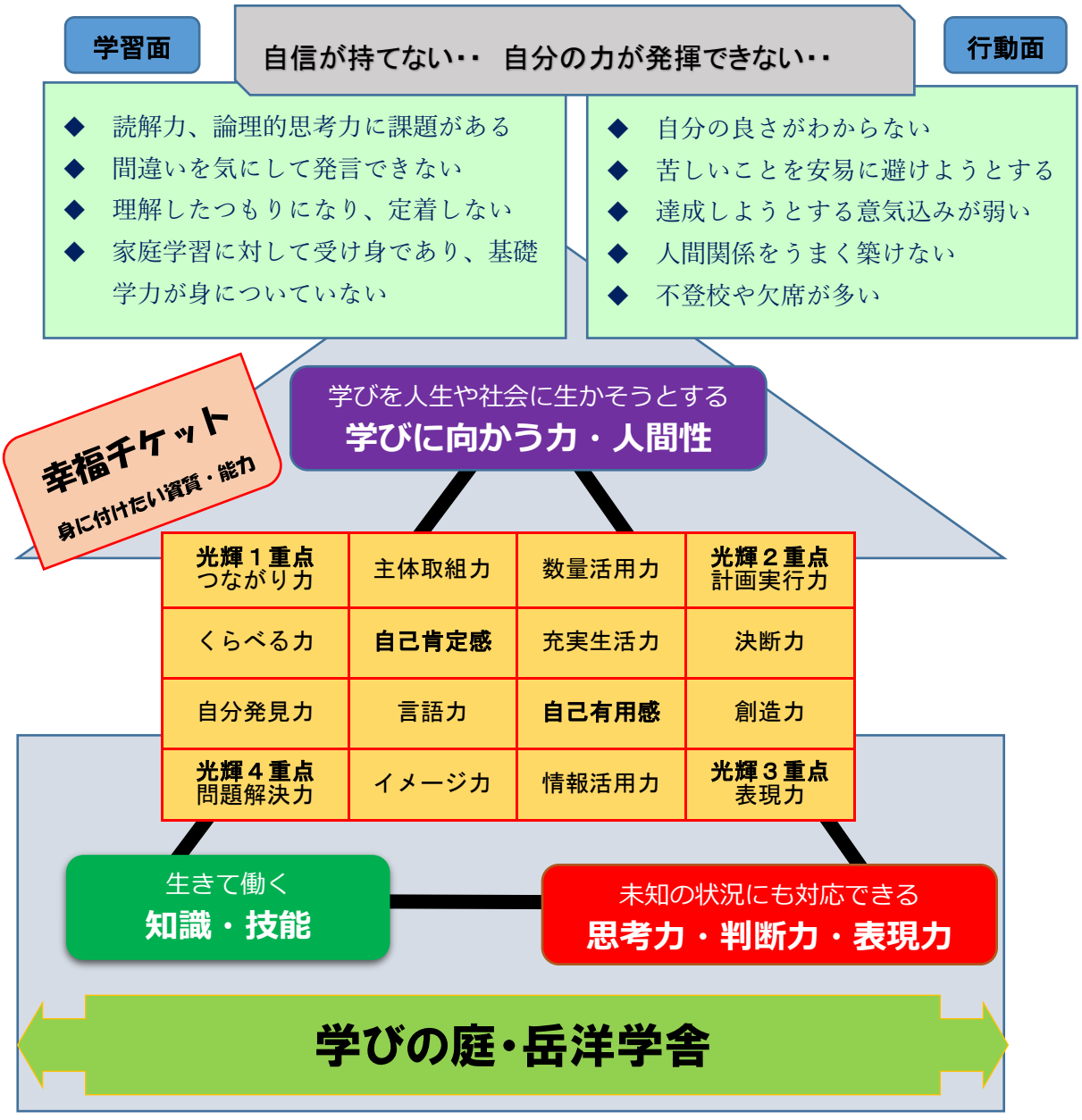
(2)　学校教育目標

！光り輝く！　自信をもち　自分の力を発揮する生徒

(3)　生徒の実態と「光り輝く」ために身に付けたい資質能力「**幸福チケット**」

○素直に話を聞き、興味や関心をもつ生徒が多い
○課題に対して真面目に取り組む
○対話、実験、作業等に意欲的

○進んであいさつができる
○明るく、やさしい人柄
○委員や係の仕事に意欲的
○行事や部活動に熱心



3　重点目標

良さを伸ばそう

～自分・仲間・ものごとに向き合うことを大切に～

誰もが良さをもっている。
その良さに気づき、伸ばすことによって、自己肯定感・
自己有用感を育み、自信をもたせたい。

学習

学力の定着を目指し、自分に自信をもって学習に取り組む生徒

・より良い授業づくりに向けた目標と評価の活用
・対話によるかかわりを大切にする生徒の育成
・ICT を有効に活用した授業と家庭学習の充実
・力を伸ばすための振り返り活動の充実

特活

学校・学年・学級づくりに主体的に参画する生徒

・互いの良さに気づき、認め合う仲間づくり
・様々な立場によるリーダーとフォロワーの育成
・より良く過ごすための主体的な生徒会活動
・自分を見つめ、将来を見据える進路学習

生活

集団生活の中で、自己を高め、人の役に立とうとする生徒

・自分の良さに気づき、高めようとする意識の向上
・より良い生活のために、考えて動く生徒の育成
・命を大切にし、安全を最優先する判断力の育成
・挨拶、食事、睡眠等、生活リズムの習慣化

光輝1 → 光輝2 → 光輝3 → 光輝4 → 光輝5

テーマ	つながる	挑戦する	共に創る	自分を超える	感謝、そして次へ
獲得したい幸福チケット	つながり力	計画実行力	表現力	問題解決力	自己肯定感
学習	学習習慣の確立	定期テスト 計算 SP	学習習慣の確認	定期テスト 計算 SP	定期テスト 計算 SP
生活	挨拶 生活リズム	食事	生活リズム	睡眠	思いやり・感謝 生活リズム
特別活動	岳洋祭 スポーツの部	大会 コンクール	岳洋祭 合唱の部	新生徒会	感謝の活動

４　成果指標

＜菊川市統一目標と数値（学校独自）＞	（強肯定）
学校が楽しい	65%
みんなで何かをするのは楽しい	75%
授業に主体的に取り組んでいる	55%
授業がよくわかる	35%
学校に信頼することのできる先生がいる	55%
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	30%
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	65%
授業中に自分で調べる場面で、ICT 機器をどの程度使用したか	80%
学級の友達と意見を交換する場面で、ICT 機器をどの程度使用したか	50%
自分の考えをまとめ、発表する場面で、ICT 機器をどの程度使用したか	30%

＜岳洋中学校区統一目標＞	
自分には良いところがある	45%
家で自分で計画を立てて勉強している	30%
自分から進んであいさつすることを心がけている	70%

＜2023 年の達成目標＞	
全国学力学習状況調査	全国平均以上
不登校生徒数（2022 比） （新規不登校をなくす）	半減